

# ワークスタイルの変革に資するWeb会議システムの試行

遠隔地との効率的で協働作業のできる会議を目指して

## Trial of Web Meeting System Available for the Innovation of Work Style

Aiming at the Realization of a Remote and Effective Collaboration Meeting

(情報システム部 ビジネス構造改革推進G)

電力自由化範囲の拡大やエネルギー技術の革新など当社を取り巻く環境は大きく変化しておりそれらに柔軟に対応することは喫緊の課題となっている。そこで近年急速な進歩を遂げつつあるITツールを活用することによりコストの削減、付加価値の向上、品質向上を図り競争力を強化していく必要がある。そのため、「ITツール活用によるワークスタイルの研究」を実施し「各種ITツールの導入仮説」を構築した。その中で導入が比較的容易で、導入効果が明確なWeb会議システムを導入・試行し、その効果の検証を行ったので紹介する。

(Business Process Reengineering Group, Information Systems Department)

The environment surrounding our company has been greatly changing through an enlargement of the scope of deregulation of electric utilities, energy technology development, and so forth. It is an emergent subject to adapt ourselves to these flexibly. Therefore, we need to strengthen our competing ability, reduce costs, and enhance added value and quality by using IT tools which have been rapidly innovated these days. Thus, we have executed "The Study of Work Style by Using IT Tools" and have set up "a hypothesis introducing some kinds of IT tools". Among them, we have tried to introduce a Web Meeting System which can be easily introduced and whose effects are visible and we have verified them. We will show these.

### 1 各種ITツール導入仮説の概要

- (1) 当社の経営課題を達成するために今後必要とされるITツールとは何かを探るため、経営戦略本部をはじめ本店各部14部署(ライン保有部署はライン業務を対象)に対して業務のプロセスに関するヒアリング調査を実施し、そのプロセスの課題およびITツールによる改善機会を調査した。
- (2) ヒアリングの結果抽出されたITツールについて ニーズの高さ、問題解決の度合いから優先順位付けを行い導入仮説を構築した。得られたITツールのうち主なものを以下に示す。

### 2 Web会議システムの概要と利用シーン

第1表であげたITツールのうち、優先順位が1番であったWeb会議システムを例として説明する。Web会議システムは、パソコンにWebカメラとヘッドセットを装着し、ネットワークで連携したパソコン画面上で、映像・音声・ドキュメントを利用して、本支店営業所間など遠隔地との協働作業や効率的なディスカッションを実現する、Webコラボレーションツールである。

専用の設備や会議室を使用することなく、通常使用しているMINASANネットパソコン上で「資料を共有したり、その場で資料を修正する」ことができる。第1図に利用シーンを示す。

第1表 主なITツール導入仮説

| ITツール名                              | ツールの概要   | 想定利用シーン   | 主な効果   |
|-------------------------------------|--|---|--|
| Web会議システム                           | PCにヘッドセット、Webカメラを設置しLAN環境下で遠隔地との会議を実施                  | 本支店事業場間での会議<br>現場と事務所間の確認調整   | 出張旅費の削減<br>移動コストの削減  |
| ユビキタス環境の整備<br>(テレワーク(在宅勤務))         | モバイルPC、携帯とインターネットVPNを組み合わせてのことなどによりいつでもどこでも社内情報にアクセスする | 営業業務でお客さま先からモバイル端末を利用した上司との報告・連絡・相談の実施                                  | 迅速なお客さまニーズへの対応<br>直行直帰による生産性の向上  |
|                                     | 上記の内、テレワーク(在宅勤務)制度も範疇とする                               | 育児のための時間短縮者等で在宅勤務を想定  | 育児に対する柔軟な環境整備による<br>スキルを持った人材の確保(離職の防止)  |
| 電子決裁システム                            | 紙ベースで行っていた起案~回議~決裁を電子化                                 | 社外委託・工事・計画・予算審議等の電子決裁化に利用   | 決裁回議時間の短縮<br>電子化による内部統制強化<br>紙コストの削減   |
| 各種情報の収集・共有・<br>発信のためのツール            | ファイル共有やグループポータル、コミュニケーションポータル等を利用した情報の共有・収集・発信         | 過去の調査結果や研究成果を全社で共有<br>本支店事業場間でのファイルの一元管理<br>プロジェクト単位での情報共有<br>研究ニーズの募集等 | 情報再利用による効率化<br>大容量データのやりとり、最新版への更新<br>別行動していても情報共有が容易に実現<br>不特定多数への情報収集・提供による活性化       |
| グループや個人管理の<br>ためのタスク管理              | 業務項目ごとに進捗をグループ内に共有する機能                                 | オフィスワーカー系社員の管理職・個人が業務の進捗管理・牽制を実施  | 管理者や個人が的確に把握した業務進捗状況に応じ、業務配分の見直し、優先順位変更等マネジメント業務に活用                                    |
| モバイル端末を活用した<br>巡視点検等の記録<br>(設備管理全般) | 社外からモバイル端末を用いてデータを表示・入力し、入力結果良否を判断する機能やデータ投入時間を短縮する機能  | 設備管理業務の対象箇所の巡視・点検結果のモバイル端末からの入力・送信の実施                                   | 点検記録情報の登録時間の短縮化による<br>次工程への移行時間の短縮、誤入力の減少  |
| プレゼンス管理                             | PC上で個人の執務状況(在席・外出・繁忙等)を登録・公開する                         | 本支店事業場間での問い合わせ、連絡などの際に相手方の執務状況を確認                                       | 効率的なコミュニケーションの実施<br>受信側の繁忙期における業務の<br>寸断防止による生産性の向上<br>発信側の連絡手段の選択が可能になる<br>ことによる生産性向上 |

今回試行したWeb会議システムは、次の機能を保持している。

(1) ビデオ/映像音声機能

PC上に2画面表示ができ相手の顔を見ながら同時に4名の会話ができる。

(2) 情報共有画面

Web画面やパワーポイント・エクセル等のファイルに参加者全員で共有することが可能で誰もが自由自在に画面への書き込みができ、コラボレーションすることにより、その場で様々な意見を資料に反映し、会議の生産性を高めることができる。

(3) 録画再生機能

会議の画面や音声、表示資料および作業等を録画し、生の会議を後で再現・確認が可能で、会議欠席者も事後に会議決定事項の確認が簡単にできる。

本研究の参画メンバーによりASP環境を利用して試行した内容および効果について以下に示す。

(1) Web会議の実施回数 9回

(2) 拠点数 最大同時4拠点

( 中部電力本店、研究委託先A社 (東京・名古屋)、研究委託先B社 (東京) )

(3) 利用人数 8名

( 中部電力本店2名、研究委託先A社3名、B社3名 )

(4) 利用期間

平成16年11月19日～

平成17年3月7日

(5) 利用場面

定例のワーキングで利用

(6) 効果

出張に伴う移動時間・移動コストの削減  
(約74万円の削減)

電話やメールに比較しコミュニケーションの質が向上

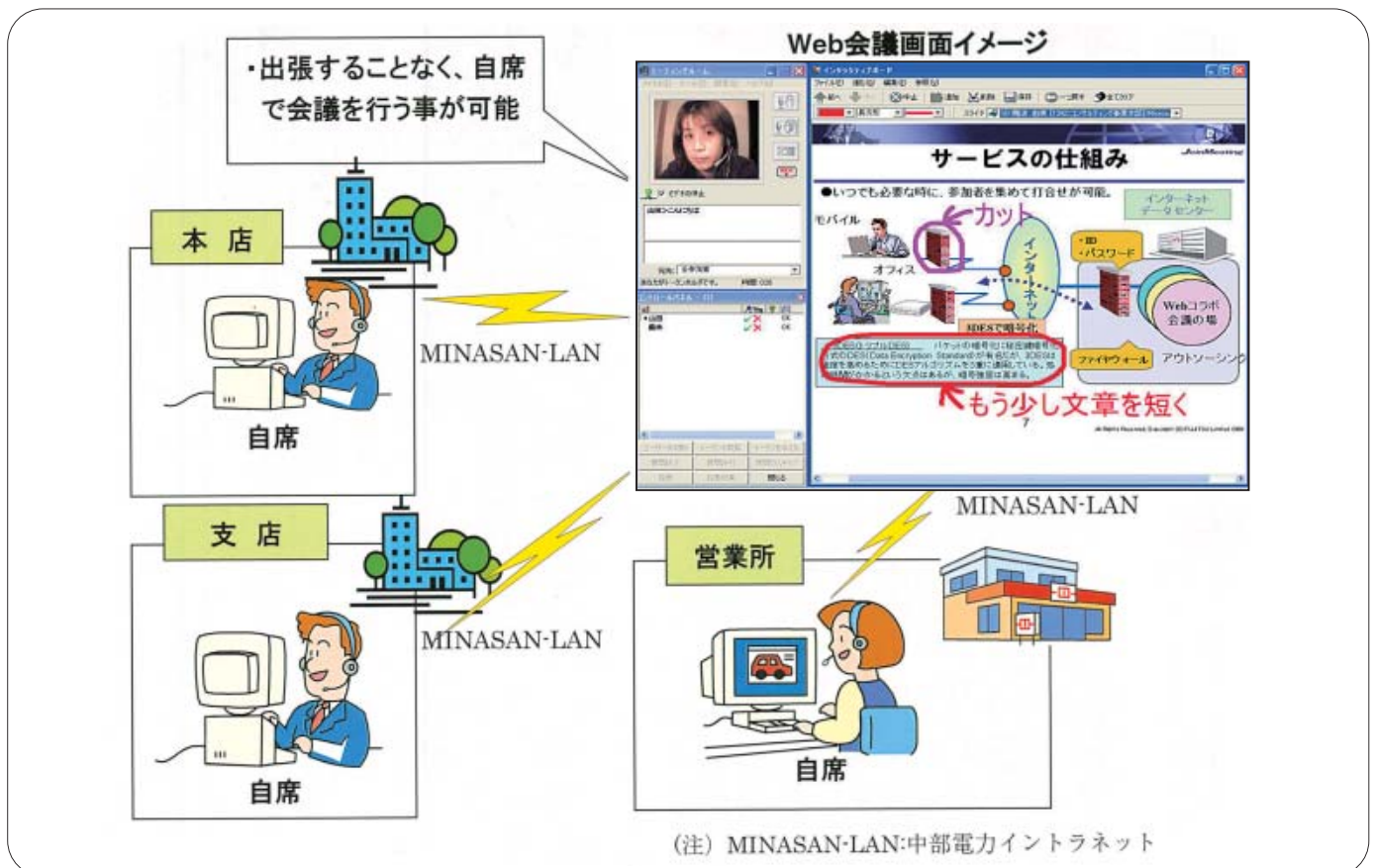
移動時間からの開放による会議開催および意思決定のスピードアップ化

録画ファイルによる事後の打ち合わせ内容の把握

### 3 今後の展開

17年度は本店経営戦略本部マネジメントプロセス改革検討チームのワーキングにおいて経営戦略本部と営業所や電力センター等の事業所との間でWeb会議システムの試行をMINASAN-LAN(中部電力イントラネット)を利用して実施・展開を行う予定である。

また、Web会議も含め第1表で紹介した各種ITツール(仮説)を導入した際の費用対効果の観点から各種ITツールの本格導入の可能性を検討していく予定である。



(注) MINASAN-LAN:中部電力イントラネット

第1図 Web会議システム利用シーン



執筆者 / 都築 巧  
Tsuzuki.Takumi@chuden.co.jp